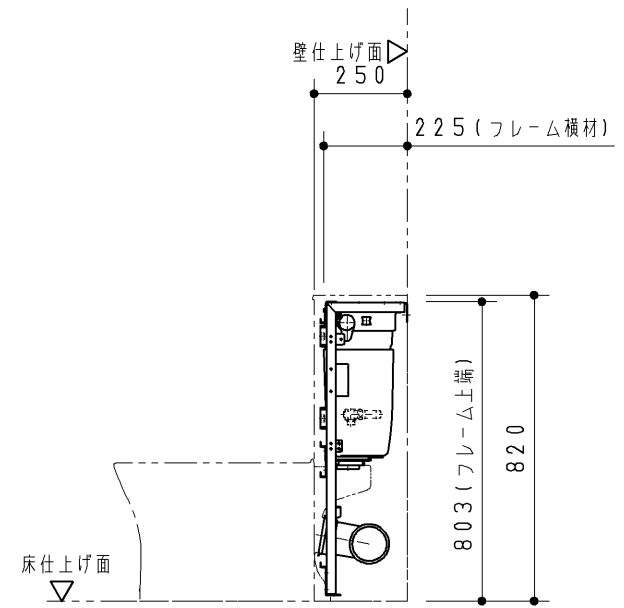
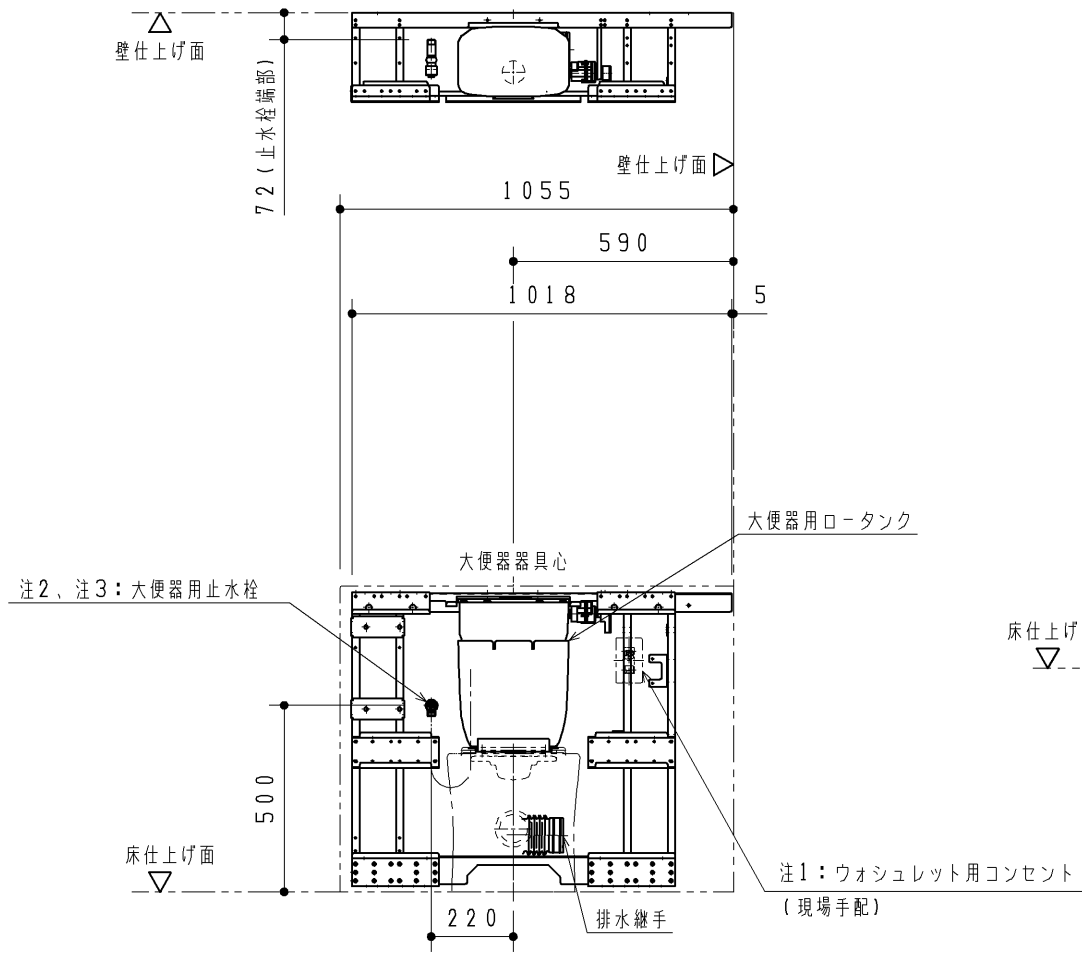
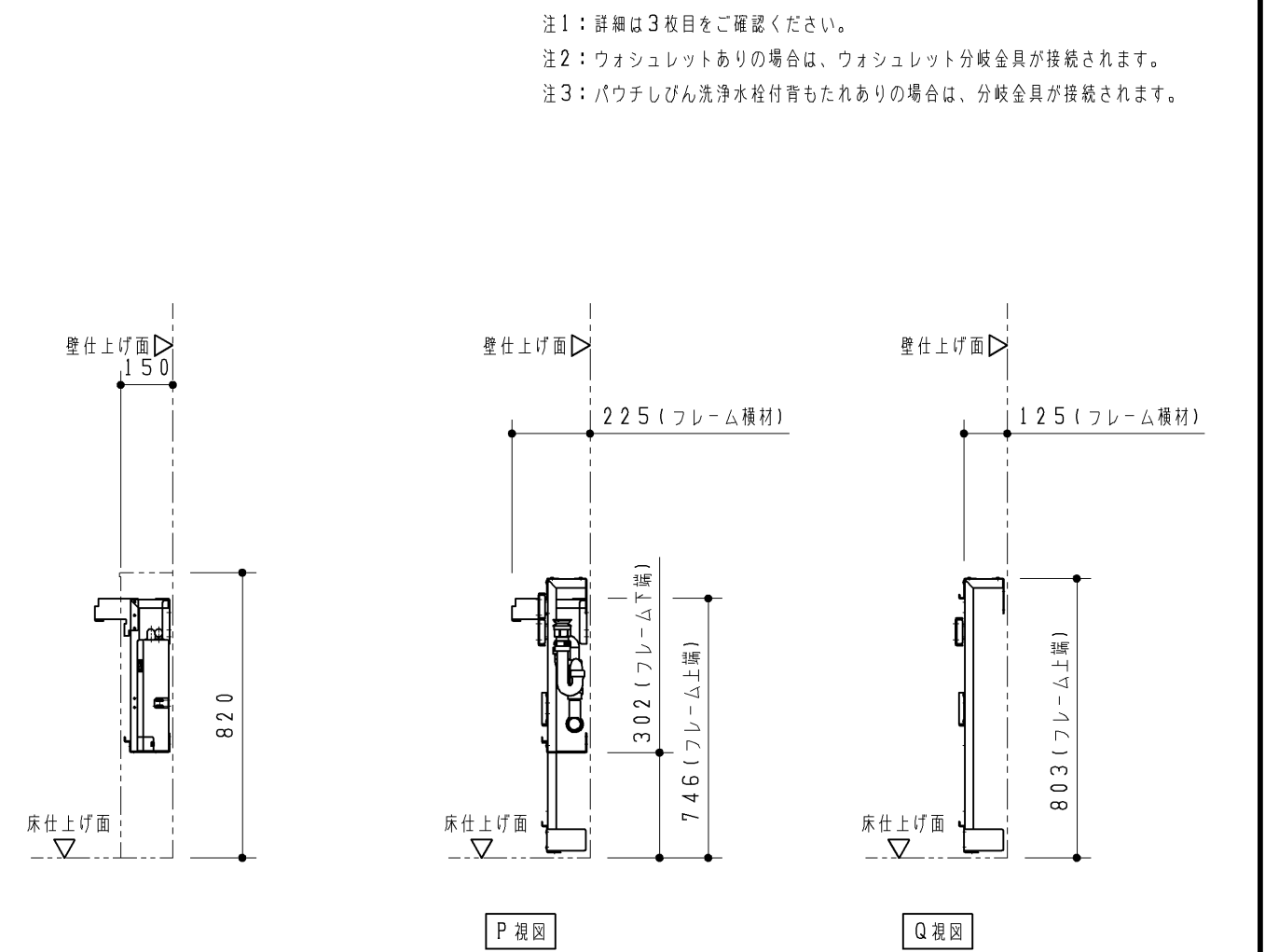
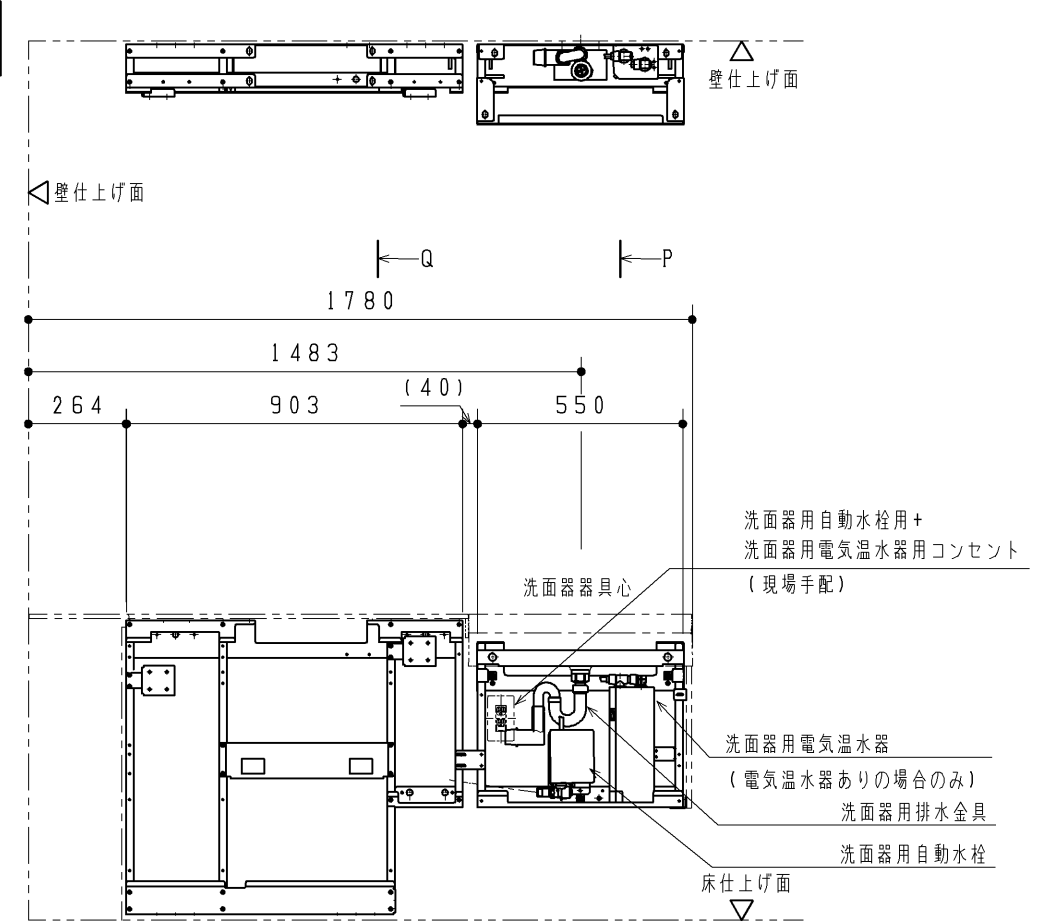


フレーム詳細図



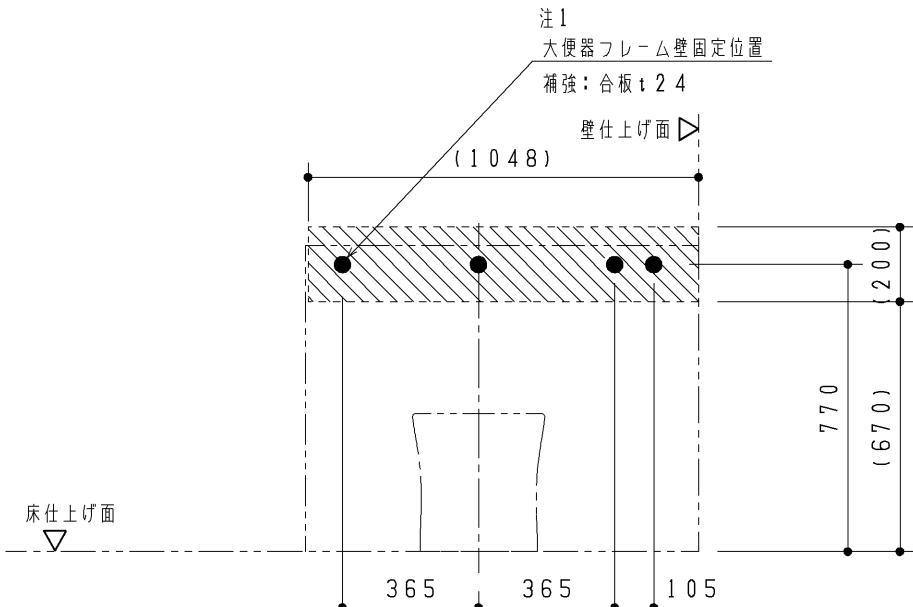
注1：詳細は3枚目をご確認ください。
注2：ウォシュレットありの場合は、ウォシュレット分岐金具が接続されます。
注3：パウチしびん洗浄水栓付背もたれありの場合は、分岐金具が接続されます。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック フレーム詳細図 (洗面器あり/右勝手/水道水)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1:20	品番 UAÐ9F3R1Ð***N***
備考 全5枚中の1枚目				図番 T-UAÐ9F3R1Ð=AN==

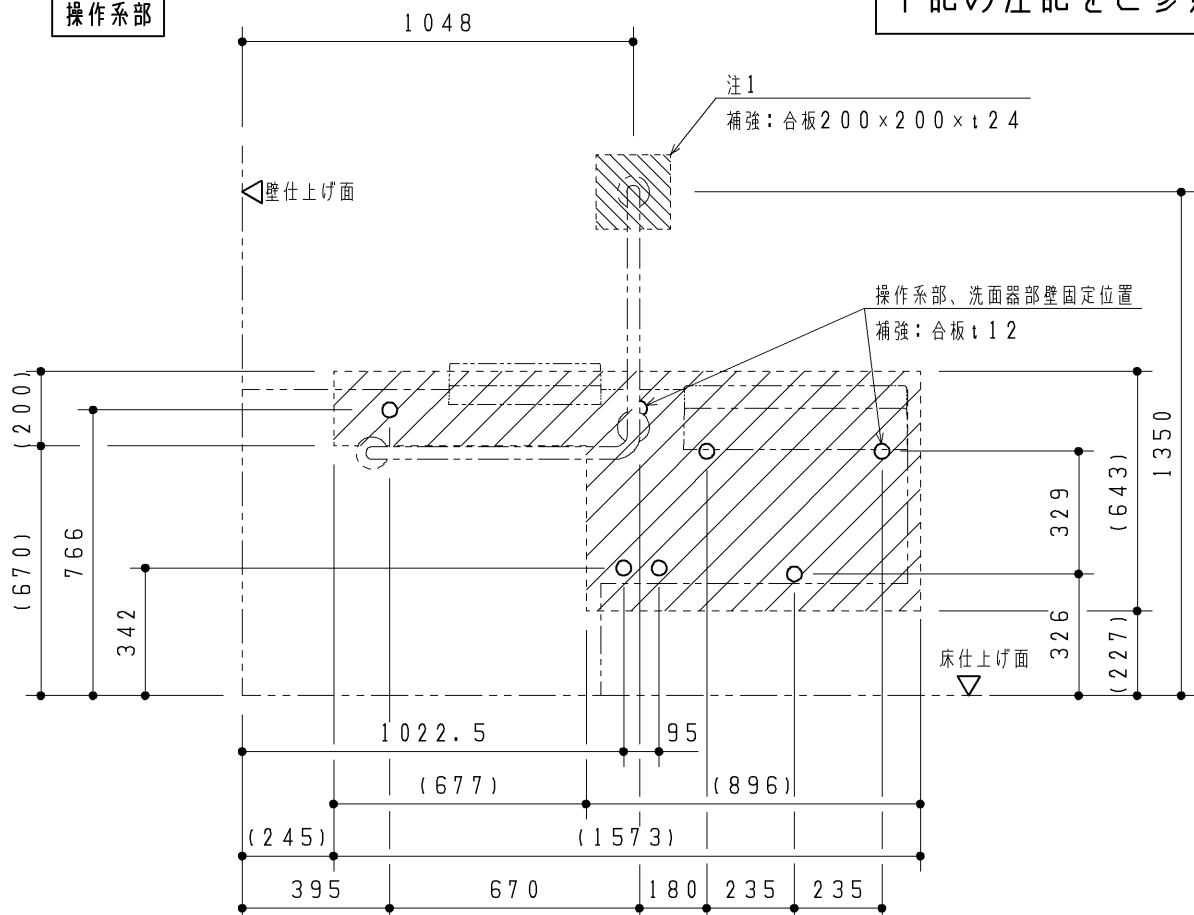
事前施工情報

■壁固定部

大便器部



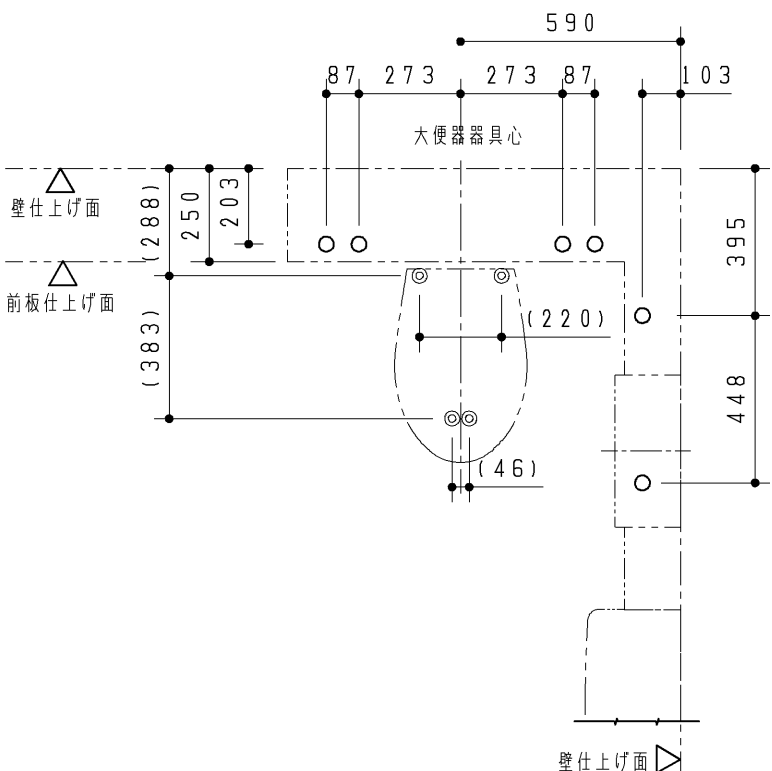
操作系部



壁固定位置には補強が必要となります。
下記の注記をご参照ください。

■床固定部

大便器部・操作系部



注：壁固定位置は、上図に示す○部および●部になります。

下地別の壁固定部材を下表に示します。

壁下地がLGS＋耐水合板の場合、JAS規格相当の耐水合板を使用してください。

(フレーム)

壁下地	壁固定部材	
コンクリート	樹脂プラグ(タッピンねじ $\phi 4.5 \sim \phi 6.2$ 用) 下穴 $\phi 8$ 、深さ：55	同梱
LGS＋耐水合板	トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$	同梱

(L型手すり：上部固定4点)

壁下地	壁固定部材	
コンクリート (仕上厚10mm以内)	アンカーボルトM6×85 下穴 $\phi 6$ 、深さ：85	同梱
LGS＋耐水合板	コーチねじ $\phi 6 \times 70$	同梱

注：大便器床固定位置は、左図に示す◎部になります。

() 寸法は目安ですので、現場にて大便器を合わせて下穴を開けてください。

(大便器)

床下地	床固定部材	
コンクリート (仕上厚10mm以内)	樹脂プラグ $\phi 4.5 \sim \phi 6.2$ 用 下穴 $\phi 8$ 、深さ：55	同梱

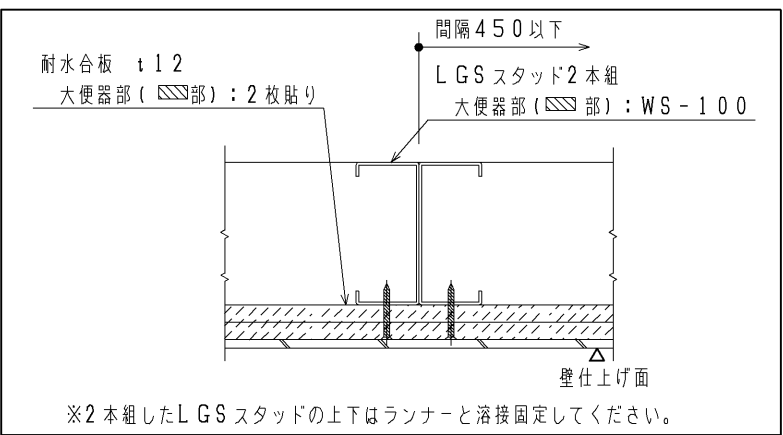
注：壁下地がLGSの場合、フレームが強固に固定できるよう

あらかじめ壁に下記の補強をご用意ください。

部、及び部を含めた十分に広い範囲を補強してください。

(斜線部は必要最小限の貼り付け目安を示しています。)

≪壁がLGS(H＝4m以下)の場合の補強方法≫



注1：壁下地がLGSの場合、耐水合板 $\text{t}12$ を2枚

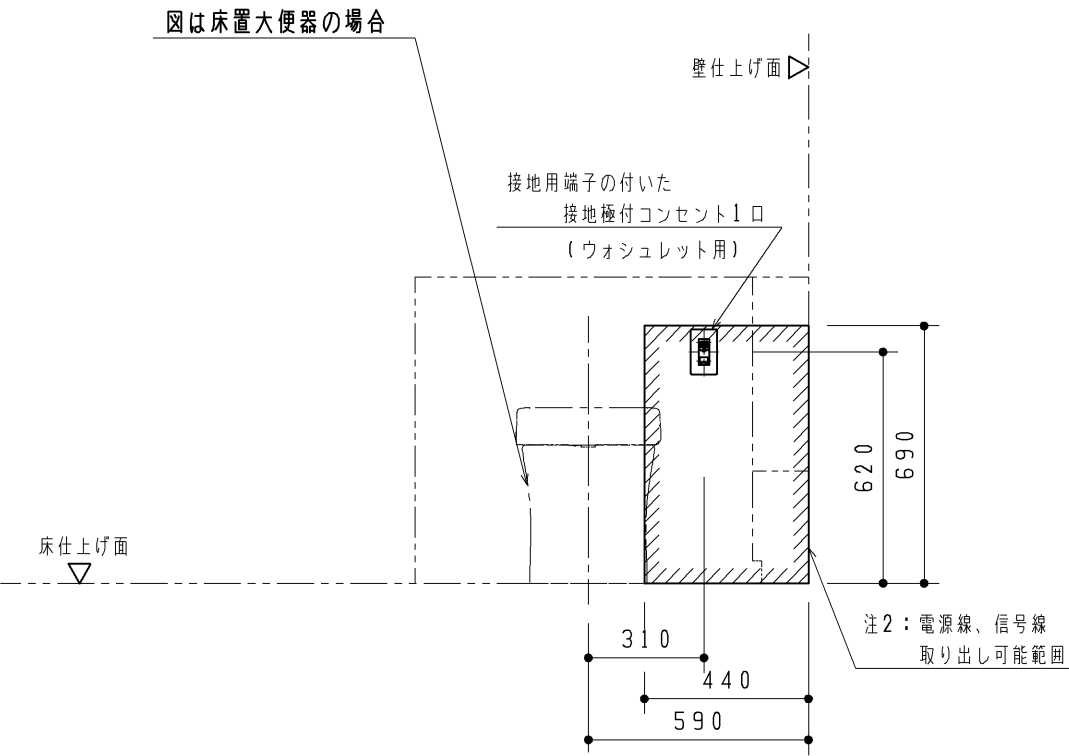
または $\text{t}24$ を1枚貼りしてください。

TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレパック 床置き 事前施工情報 (汚物流しなし・洗面器あり/右勝手)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16.07.01	尺度 1:20	品番 UA $\text{D}9\text{F}/\text{Y}3\text{R}*****$
備考 全5枚中の2枚目				図番 H-UA $\text{D}9\text{F}3\text{R}====(1$

事前施工情報

電気工事

大便器部



注：各製品の消費電力を確認の上、電気工事を行ってください。部材は現場手配となります。

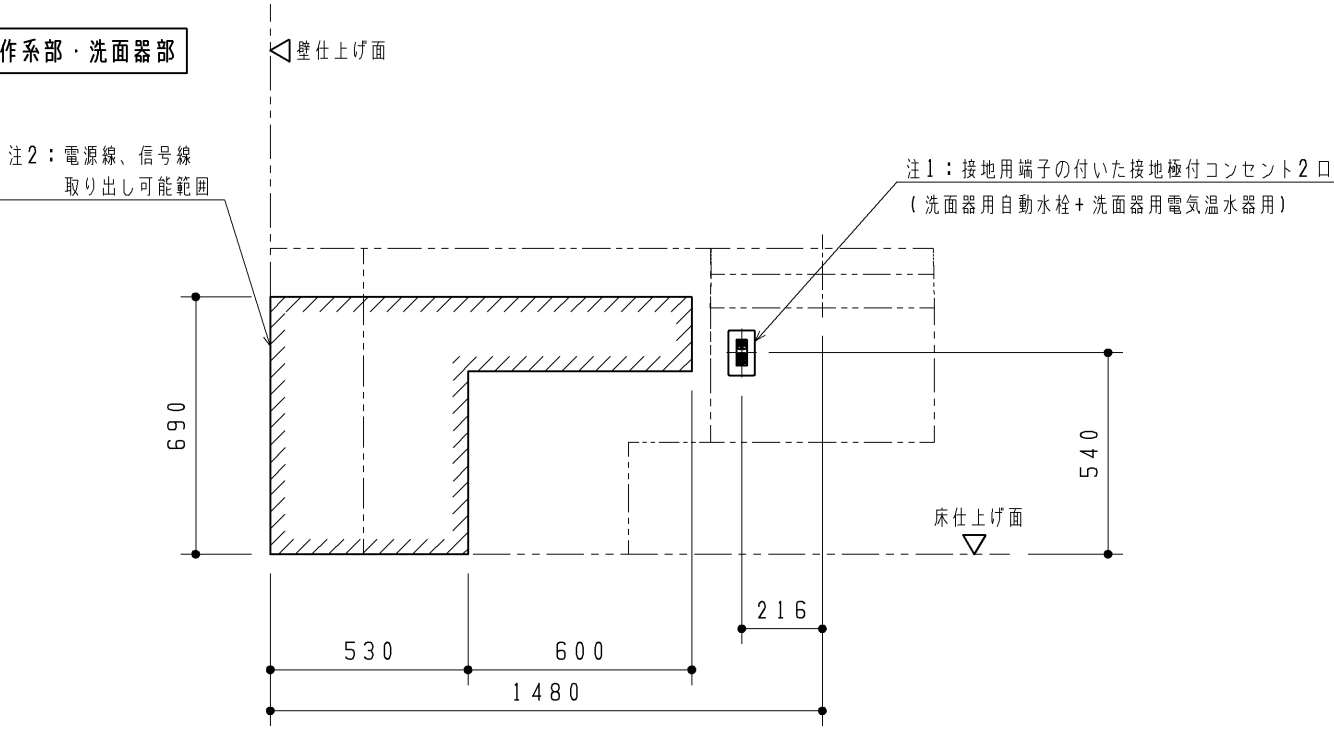
注：内蔵器具・フレームと干渉するため、必ず埋込コンセントを準備してください。(露出コンセントは設置不可)

注1：電気温水器なしの場合は、二極コンセント1口になります。

注2：は呼出しボタン用電源線の取り出し可能範囲を示します。

器具種類	電源	定格消費電力	備考
ウォシュレット	AC100V 50/60Hz	316W	電源コードの長さ：1.0m
洗面器用電気温水器	AC100V 50/60Hz	505W	電源コードの長さ：1.0m、アース線の長さ：1.0m
洗面器用自動水栓	AC100V 50/60Hz	常時0.4W、 作動時0.6W	電源コードの長さ：0.75m

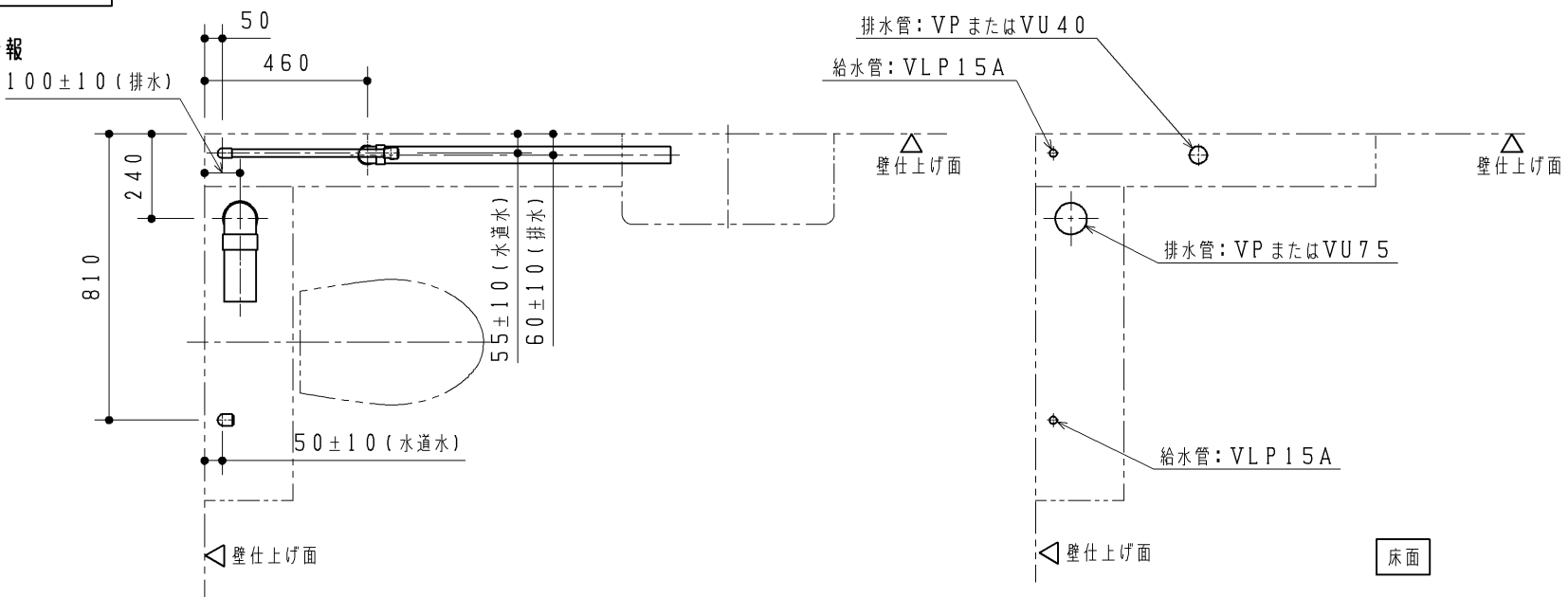
操作系部・洗面器部



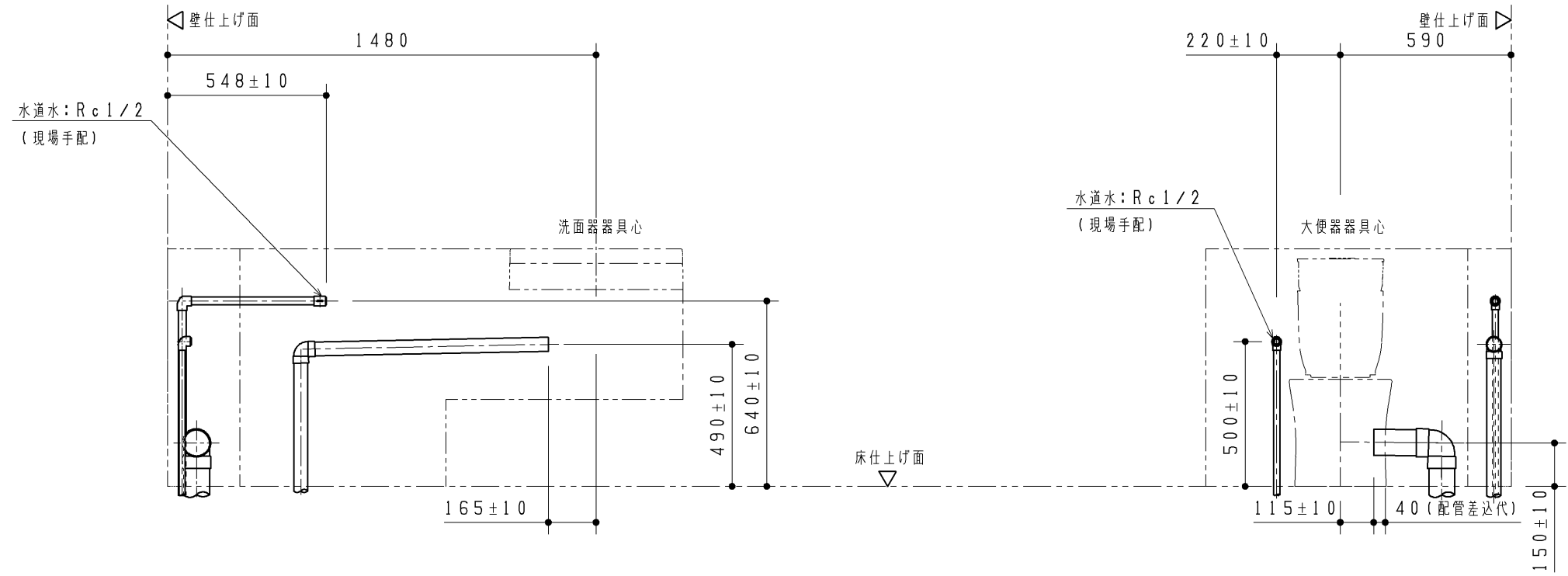
TOTO			第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック 事前施工情報 (汚物流しなし・手洗器なし・洗面器あり/右勝手)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16.07.01	尺度 1:20	品番 UAÐ9W_F3R*B*****	
備考 全5枚中の3枚目				図番 H-UAÐ9W_F3R=B(2	

事前施工情報

■事前配管情報

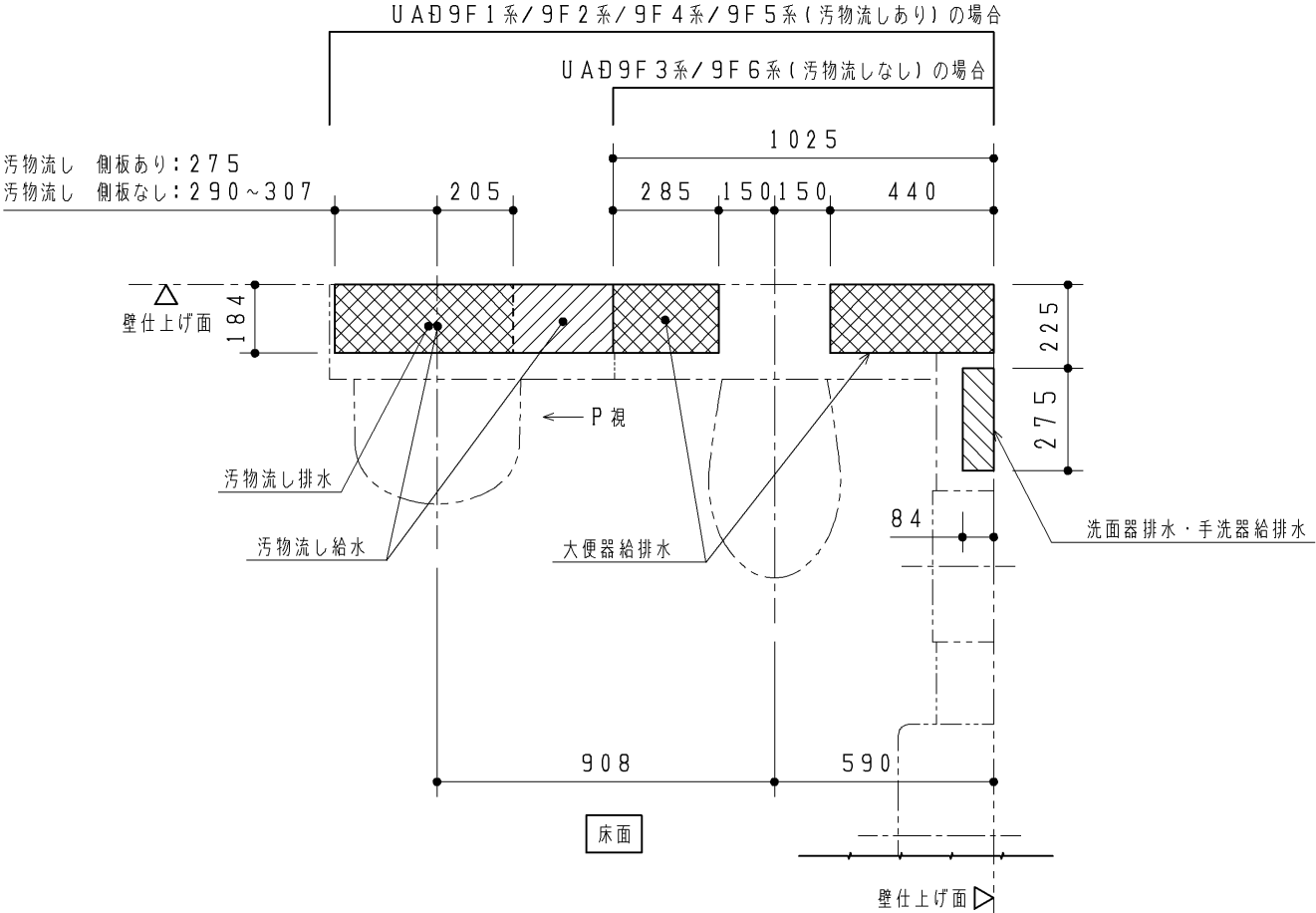


- 注：給水は図に示す位置に末端R c 1 / 2 (2 方所) で準備してください。
- 注：VP 7 5 または VU 7 5 排水管は順勾配 1 / 1 0 0 を、
VP 4 0 または VU 4 0 排水管は順勾配 1 / 5 0 を確実に確保してください。
- ライニング内に通気管を通すことができませんので、排水はそれぞれ各個抜きにて準備してください。
- 注：末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。
- 注：配管は躯体壁などに確実に固定してください。
- 注：給水最低必要水压 0 . 0 5 M P a (流動時) 、最高水压 0 . 7 5 M P a (静止時)
- 注：左図と異なる位置から配管を立ち上げる場合は、本図面 5 枚目に示す
「配管取り出し可能範囲」を参考にしてください。
- また、寸法詳細及び配管の取り回しに関しては、本図面 1 枚目に示す「フレーム
詳細図」を参照の上、内蔵器具、フレームと干渉しないよう注意してください。



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック 床置き 事前施工情報 (汚物流しなし・洗面器あり/右勝手/水道水)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1 : 2 0	品番 UAÐ9F/Y3R1B**N***
備考 全 5 枚 中 の 4 枚 目				図番 H - UAÐ9F 3 R 1 B 1 = N (3

配管取り出し可能範囲



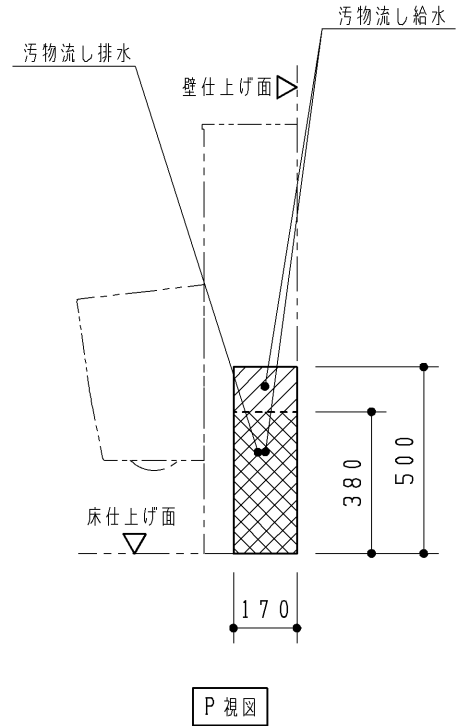
◆本図はフレームや内蔵物に配管外形が干渉せずに取り出せる、床面・壁面の範囲を示します。
図に示す範囲以外は配管が取り出せませんので、注意してください。

【給水管】 : 給水管の外形寸法(保温含む)が納まる範囲を示します。

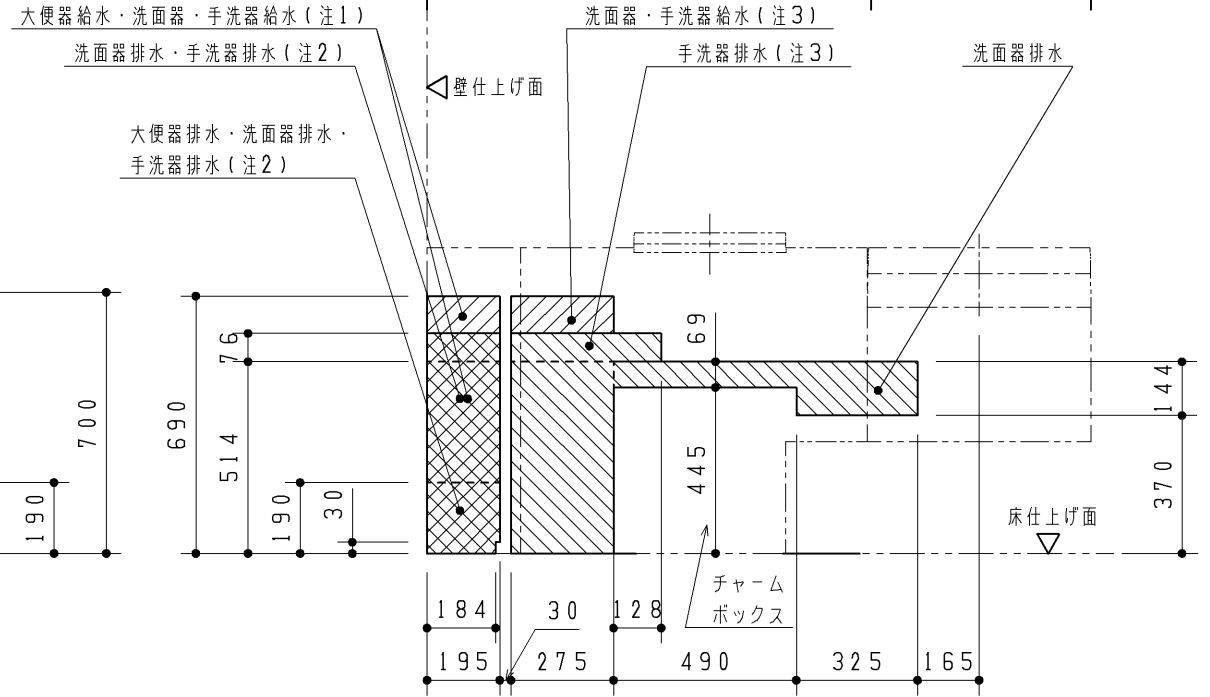
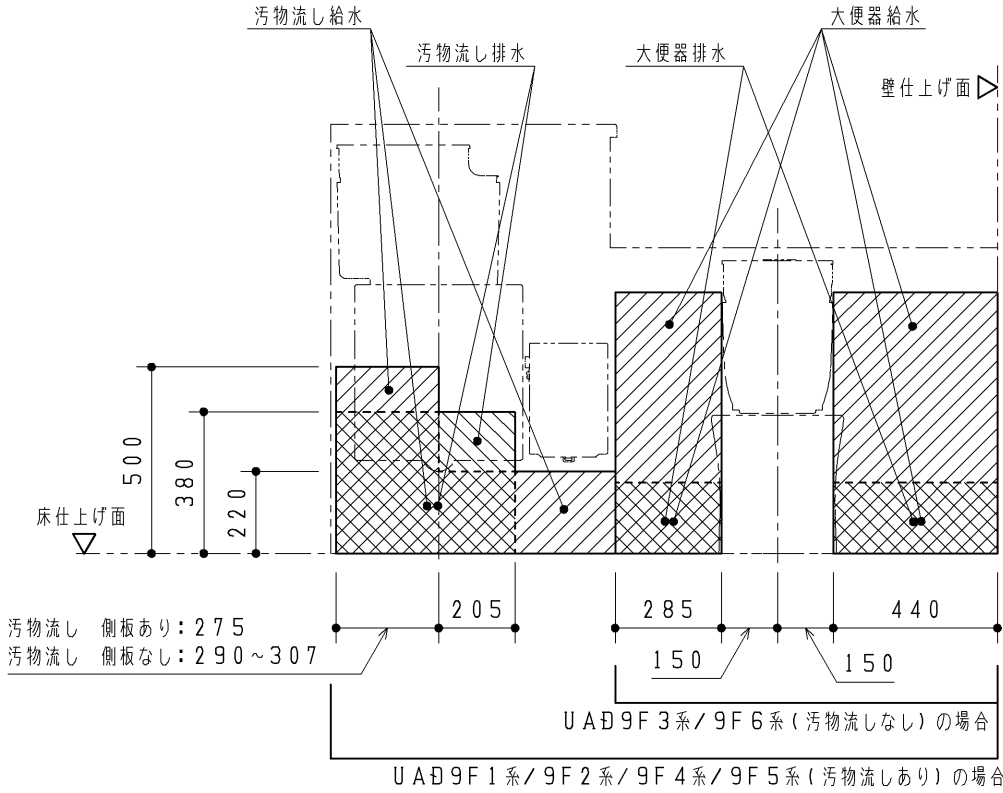
【排水管】 : 排水管の外形寸法が納まる範囲を示します。

※排水管は順勾配を確実に確保してください。
大便器・汚物流し: 1/100
洗面器・手洗器: 1/50

注1: 手洗器なしの場合は、大便器給水範囲になります。
注2: 手洗器なしの場合は、大便器排水範囲になります。
注3: 手洗器なしの場合は、洗面器給水範囲になります。
※大便器排水を真後ろに抜く場合は、HP82S(別途手配)を使用してください。



UAD9F2系・UAD9F5系
(汚物流し側板なし)の場合



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 コンパクト多機能トイレバック 配管取り出し可能範囲 (右勝手共通)
製図 村田	検図 堤坂口	日付 16. 07. 01	尺度 1:20	品番 UAD9F*R*A***** UAD9F*R*B*****
備考 全5枚中の5枚目				図番 H-UAD9F=R=A= (4)